



## 2020年6月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ  
 コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 熊田 圭一郎

TEL 03-5487-7855

定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年6月期の業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	1,157	2.5	139	13.8	139	13.7	104	6.5
2019年6月期	1,128	0.3	161	4.7	161	4.6	111	4.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	67.78		8.5	9.0	12.0
2019年6月期	72.52	72.52	9.9	11.4	14.2

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 百万円 2019年6月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	1,591	1,262	79.3	821.13
2019年6月期	1,476	1,176	79.7	765.39

(参考) 自己資本 2020年6月期 1,262百万円 2019年6月期 1,176百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	147	0	19	1,325
2019年6月期	184	1	18	1,197

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期		0.00		12.00	12.00	18	16.5	1.6
2020年6月期		0.00		12.00	12.00	18	17.7	1.5
2021年6月期(予想)								

(注) 2021年6月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期	1,536,960 株	2019年6月期	1,536,960 株
期末自己株式数	2020年6月期	168 株	2019年6月期	79 株
期中平均株式数	2020年6月期	1,536,844 株	2019年6月期	1,536,707 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
4. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、前半は緩やかな回復基調を維持しましたが、後半は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、個人・法人とも活動が大きく制限され、先行きが極めて不透明な状況で推移しました。

当社が属する市場及び顧客においては、企業のシステム投資ニーズは安定しており、エンジニアの需要も高水準を維持しているものの、今後の状況は予断を許さないものと認識しております。

このような環境のもとで、当社は、主力製品であるクラウドERP「MA-EYES」について、需要動向を捉えた新機能の開発や、新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねてまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高11億57百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益1億39百万円（同13.8%減）、経常利益1億39百万円（同13.7%減）、当期純利益1億4百万円（同6.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①パッケージ事業

提案先の結論先延ばし等から新規受注が減少する一方で、既存顧客からの追加発注や、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料等が増加したことから、売上高は7億26百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は3億26百万円（同5.4%減）となりました。

#### ②システムインテグレーション事業

堅調なIT需要を背景に単価・稼働率とも安定的に推移いたしました。また、前期にオープンしたフリーランス専用の案件紹介サイト「Humalance」の貢献もあり、成約件数が増加した一方で原価率も上昇したことから、売上高は4億31百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は1億4百万円（同7.6%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は15億91百万円となり、前事業年度末に比べ1億15百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当事業年度末の負債合計は3億29百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に、パッケージ事業の新規受注および保守やSaaS版利用料に係る前受金の増加によるものであります。

当事業年度末の純資産合計は12億62百万円となり、前事業年度末に比べ86百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税引前当期純利益が1億39百万円（前年同期比13.7%減）となったことおよび売上債権の減少等により、前事業年度末に比べ1億28百万円増加し、当事業年度末には13億25百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億47百万円（同20.4%減）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上および売上債権の減少によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は0百万円（同99.6%減）となりました。これは主に、前期に一時的に発生した敷金の差し入れ等が当期は発生しなかったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は19百万円（同1.4%増）となりました。これは主に、配当金の支払額によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しは、次のとおりであります。

「働き方改革」などの社会的要請・日本政府の方針により、今後ますます生産性向上の取り組みが活発となり、ERP導入市場の更なる拡大が予想される中、需要動向を捉えた既存パッケージへの機能拡張・改善、現在主要ターゲットとなっていない新業種向け機能の開発、および、基盤技術の大幅更新を見据えた次世代MA-EYESの技術検討を行ってまいります。また、マーケティング活動・販売体制の強化、全国での拡販、および、パッケージ関連商材の拡販等により売上高および利益の拡大を目指してまいります。さらに、優秀なエンジニア・プロジェクトリーダー・プロジェクトマネージャーの確保および育成も重要課題のひとつであるとの認識のもと、今後も採用および教育に関する投資を行ってまいります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、企業の活動は大きな制限を受けており、また、明確な終息の見通しも立っていないことから、現時点で今後の企業のシステム投資の動向を見極めることは極めて困難な状況となっております。

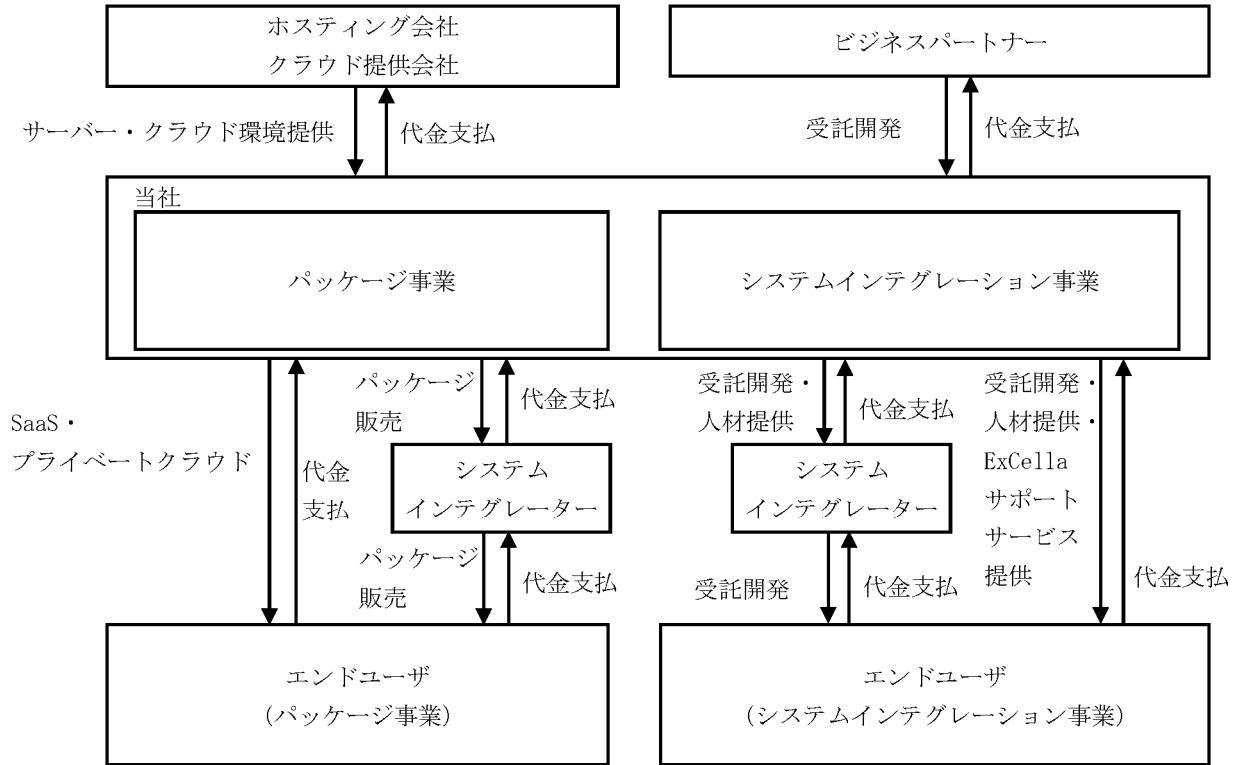
以上の状況から、次期の見通しにつきましては未定とさせていただきます、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 企業集団の状況

当社は単体で事業を行っており、企業集団は形成していません。

現在、ERP パッケージ等の製造および販売を行うパッケージ事業と、顧客システムの受託開発やIT人材の派遣を行うシステムインテグレーション事業を行っております。

事業系統図は次の通りであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,257,534	1,385,598
売掛金	150,210	127,161
前払費用	15,851	20,172
未収収益	6	6
立替金	78	—
その他	230	180
流動資産合計	1,423,909	1,533,117
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	3,075	3,075
減価償却累計額	△2,902	△2,938
建物附属設備(純額)	173	138
工具、器具及び備品	280	280
減価償却累計額	△12	△146
工具、器具及び備品(純額)	268	134
有形固定資産合計	441	272
無形固定資産		
ソフトウェア	5,021	3,077
無形固定資産合計	5,021	3,077
投資その他の資産		
長期前払費用	—	2,786
敷金	24,121	24,121
繰延税金資産	22,664	27,768
投資その他の資産合計	46,786	54,676
固定資産合計	52,248	58,025
資産合計	1,476,157	1,591,142

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,301	14,986
未払金	6,428	3,632
未払費用	22,082	18,454
未払消費税等	11,279	25,808
未払法人税等	30,684	19,199
前受金	125,312	150,370
預り金	21,367	15,960
受注損失引当金	79	704
未払事業所税	1,511	1,516
未払配当金	182	224
流動負債合計	237,226	250,853
固定負債		
退職給付引当金	62,553	78,376
固定負債合計	62,553	78,376
負債合計	299,779	329,229
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,632	232,632
資本剰余金		
資本準備金	176,292	176,292
その他資本剰余金	109,770	109,770
資本剰余金合計	286,063	286,063
利益剰余金		
利益準備金	3,602	3,602
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	654,279	740,006
利益剰余金合計	657,881	743,608
自己株式	△198	△391
株主資本合計	1,176,378	1,261,912
純資産合計	1,176,378	1,261,912
負債純資産合計	1,476,157	1,591,142



(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,128,435	1,156,854
売上原価		
当期製品製造原価	621,277	630,756
当期商品仕入高	7,420	4,780
売上原価合計	628,697	635,535
売上総利益	499,738	521,318
販売費及び一般管理費	338,996	382,726
営業利益	160,742	138,592
営業外収益		
受取利息	17	18
雑収入	8	9
営業外収益合計	24	27
営業外費用		
支払利息	42	—
株式交付費	30	—
その他	1	2
営業外費用合計	73	2
経常利益	160,693	138,618
税引前当期純利益	160,693	138,618
法人税、住民税及び事業税	51,096	39,552
法人税等調整額	△1,851	△5,104
法人税等合計	49,244	34,448
当期純利益	111,449	104,170

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)		当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		482,563	77.7	463,097	73.4
II 経費		138,715	22.3	167,659	26.6
当期製造費用		621,277	100.0	630,756	100.0
当期製品製造原価		621,277		630,756	

原価計算の方法

原価計算の方法は個別原価計算であります。

(注) ※1. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
給料及び手当 (千円)	368,575	351,328

※2. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
地代家賃 (千円)	22,172	20,483
外注人件費 (千円)	84,951	115,368

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	232,532	176,192	109,770	285,962	5,124	559,744	564,867	—	1,083,362	1,083,362
当期変動額										
剰余金の配当						△18,435	△18,435		△18,435	△18,435
利益準備金の取崩					△1,522	1,522	—		—	—
新株の発行(新株予約権の行使)	100	100		100					201	201
当期純利益						111,449	111,449		111,449	111,449
自己株式の取得								△198	△198	△198
当期変動額合計	100	100	—	100	△1,522	94,535	93,014	△198	93,016	93,016
当期末残高	232,632	176,292	109,770	286,063	3,602	654,279	657,881	△198	1,176,378	1,176,378

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	232,632	176,292	109,770	286,063	3,602	654,279	657,881	△198	1,176,378	1,176,378
当期変動額										
剰余金の配当						△18,443	△18,443		△18,443	△18,443
当期純利益						104,170	104,170		104,170	104,170
自己株式の取得								△193	△193	△193
当期変動額合計	—	—	—	—	—	85,727	85,727	△193	85,535	85,535
当期末残高	232,632	176,292	109,770	286,063	3,602	740,006	743,608	△391	1,261,912	1,261,912

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	160,693	138,618
減価償却費	2,000	2,113
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,059	15,823
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△257	624
受取利息	△17	△18
支払利息	42	—
売上債権の増減額(△は増加)	62,856	48,108
仕入債務の増減額(△は減少)	3,841	△3,315
未払消費税等の増減額(△は減少)	△804	14,529
預り金の増減額(△は減少)	△38	△5,408
前払費用の増減額(△は増加)	1,167	△7,107
その他	2,690	△6,415
小計	238,233	197,552
利息の受取額	17	18
利息の支払額	△42	—
法人税等の支払額	△53,992	△50,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,215	146,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,422	△60,427
定期預金の払戻による収入	60,417	60,422
有価証券の償還による収入	—	—
有形固定資産の取得による支出	△280	—
敷金の差入による支出	△955	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,240	△5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△18,340	△18,400
ストックオプションの行使による収入	201	—
自己株式の取得による支出	△198	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,337	△18,593
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	164,638	128,059
現金及び現金同等物の期首残高	1,032,474	1,197,112
現金及び現金同等物の期末残高	1,197,112	1,325,171

(5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)  
 当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、①クラウドによる自社ERP提供を中心とする「パッケージ事業」と、②主に顧客企業先に常駐して開発を行う「システムインテグレーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
 前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	725,452	402,983	1,128,435	—	1,128,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	725,452	402,983	1,128,435	—	1,128,435
セグメント利益	344,300	112,604	456,904	△296,162	160,742

(注) 1. セグメント利益の調整額△296,162千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産、負債その他の項目の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示していません。

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	725,975	430,879	1,156,854	—	1,156,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	725,975	430,879	1,156,854	—	1,156,854
セグメント利益	325,739	104,043	429,782	△291,189	138,592

- (注) 1. セグメント利益の調整額△291,189千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産、負債その他の項目の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	765.39円	821.13円
1株当たり当期純利益	72.52円	67.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	72.52円	－円

(注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2. 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	111,449	104,170
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	111,449	104,170
普通株式の期中平均株式数(株)	1,536,707	1,536,844
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	168	－
(うち新株予約権(株))	(168)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。